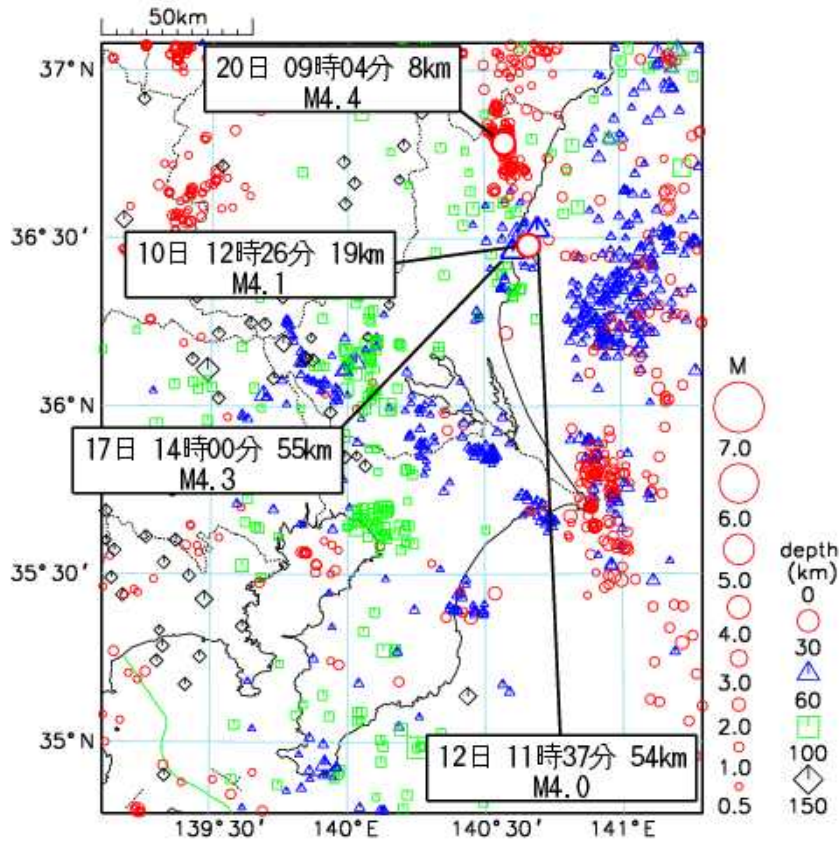


### 千葉県地震概況（令和 2 年 9 月）



震央分布図（9月1日から9月30日）

- ・ Mはマグニチュードで 0.5 以上、depth（深さ）は 150km までの地震を示しています。
  - ・ 図中の日時・km・Mは、千葉県周辺で震度 3 以上を観測した地震です。  
（7日 06 時 33 分茨城県沖及び 12 日 11 時 44 分宮城県沖の地震は、地図の範囲外となっています。）
- 注：2020 年 4 月 18 日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（減少等）がみられることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・ 本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。
- ・ データについては精査により、後日修正することがあります。

## 【地震活動概況】

今期間の県内の最大震度は2でした。県内で震度1以上を観測した地震は14回ありました。

## 【県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	M	全国最大震度	県内最大震度
1	2020/09/05 10:34	茨城県沖	36° 41.5' N	141° 28.7' E	38km	M4.6	2	1
2	2020/09/06 13:01	千葉県南部	34° 55.9' N	139° 55.0' E	47km	M3.4	1	1
3	2020/09/07 06:33	茨城県沖	36° 41.2' N	141° 28.6' E	38km	M5.2	3	2
4	2020/09/10 12:26	茨城県沖	36° 28.7' N	140° 39.8' E	19km	M4.1	3	1
5	2020/09/10 14:24	茨城県南部	35° 59.9' N	140° 08.7' E	61km	M3.3	1	1
6	2020/09/11 19:19	千葉県北東部	35° 51.4' N	140° 31.8' E	37km	M3.9	2	2
7	2020/09/12 11:37	茨城県沖	36° 31.5' N	140° 41.7' E	54km	M4.0	3	1
8	2020/09/12 11:44	宮城県沖	38° 43.3' N	142° 16.2' E	43km	M6.2	4	2
9	2020/09/15 15:06	千葉県東方沖	35° 48.3' N	140° 53.4' E	12km	M4.4	2	2
10	2020/09/17 14:00	茨城県北部	36° 27.7' N	140° 36.3' E	55km	M4.3	3	2
11	2020/09/18 20:17	千葉県東方沖	35° 22.3' N	140° 26.8' E	27km	M2.3	1	1
12	2020/09/20 09:04	茨城県北部	36° 46.9' N	140° 34.4' E	8km	M4.4	3	2
13	2020/09/20 19:48	千葉県南東沖	34° 59.0' N	140° 15.4' E	75km	M4.4	2	2
14	2020/09/26 01:46	八丈島近海	33° 14.3' N	139° 56.7' E	116km	M4.6	1	1

気象庁 HP「震度データベース検索」による

各地の震度については、気象庁 HP「震度データベース検索」をご利用ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

本資料についての問い合わせ先： 銚子地方気象台 電話 0479-23-7705

## 11月5日（木）に緊急地震速報の訓練を行います ～ 自分の命を守るためにご参加ください ～

### 概要

緊急地震速報の訓練を11月5日（木）10時00分頃に実施いたします。

### 本文

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには、日頃からの訓練を通して実際に行動をとり経験することが重要です。

緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するため、内閣府、消防庁及び気象庁は、平成20年度より年2回、緊急地震速報の全国的な訓練を国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。

今年度2回目の訓練は、令和2年11月5日（木）に実施しますので、自分の命を守るために積極的にご参加ください。

なお、気象庁は訓練の実施を計画している機関や団体等に対して訓練用の緊急地震速報（予報及び警報）を配信しますが、基本的に、テレビやラジオ、携帯電話（スマートフォンを含む）の緊急速報メール／エリアメールで訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありません。

詳細は、以下の気象庁 HP に掲載してあります。

気象庁 HP [http://www.jma.go.jp/jma/press/2010/05a/20201105\\_eewkunren.html](http://www.jma.go.jp/jma/press/2010/05a/20201105_eewkunren.html)

## 11月5日は津波防災の日

平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波によって多くの人命が失われました。これを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」と決められています。

ちなみに11月5日は、江戸時代（1854年）に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』のモデルにもなった安政南海地震の発生した日に因んだものです。

内閣府 防災情報のページ

<http://www.bousai.go.jp/jishin/tsunami/tsunamibousai/tsunamibousaiday.html>